



2024-2026年度 中期経営方針

— 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて —





現状分析

方針と目標

取り組む施策

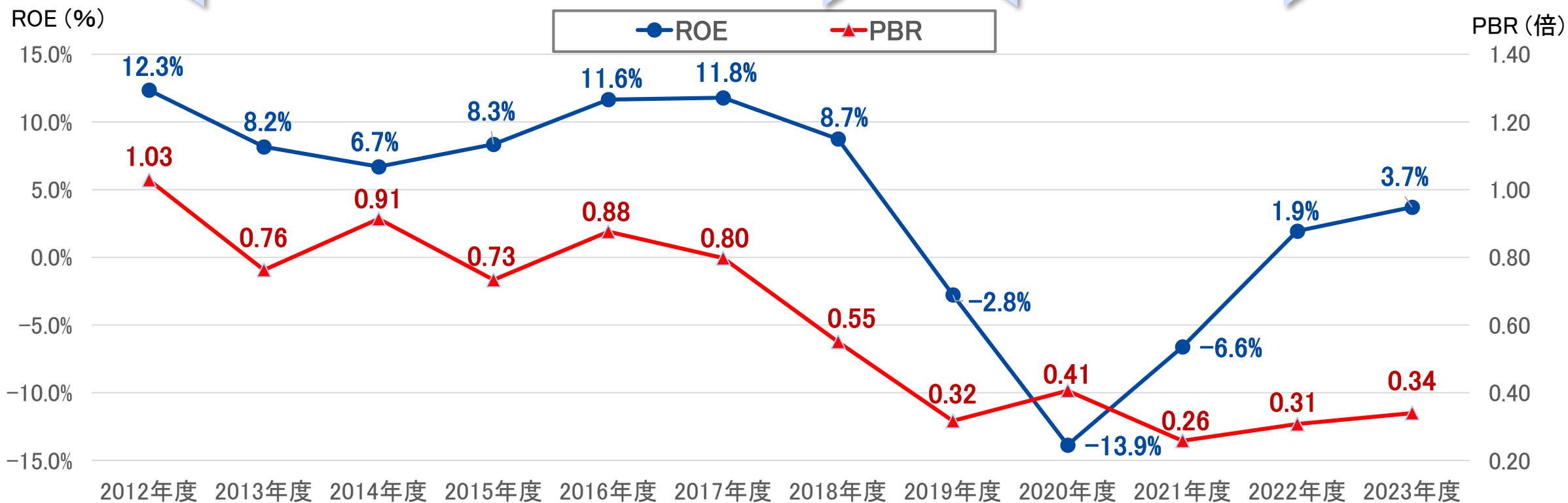


現状分析

収益の回復および自己資本の圧縮が課題

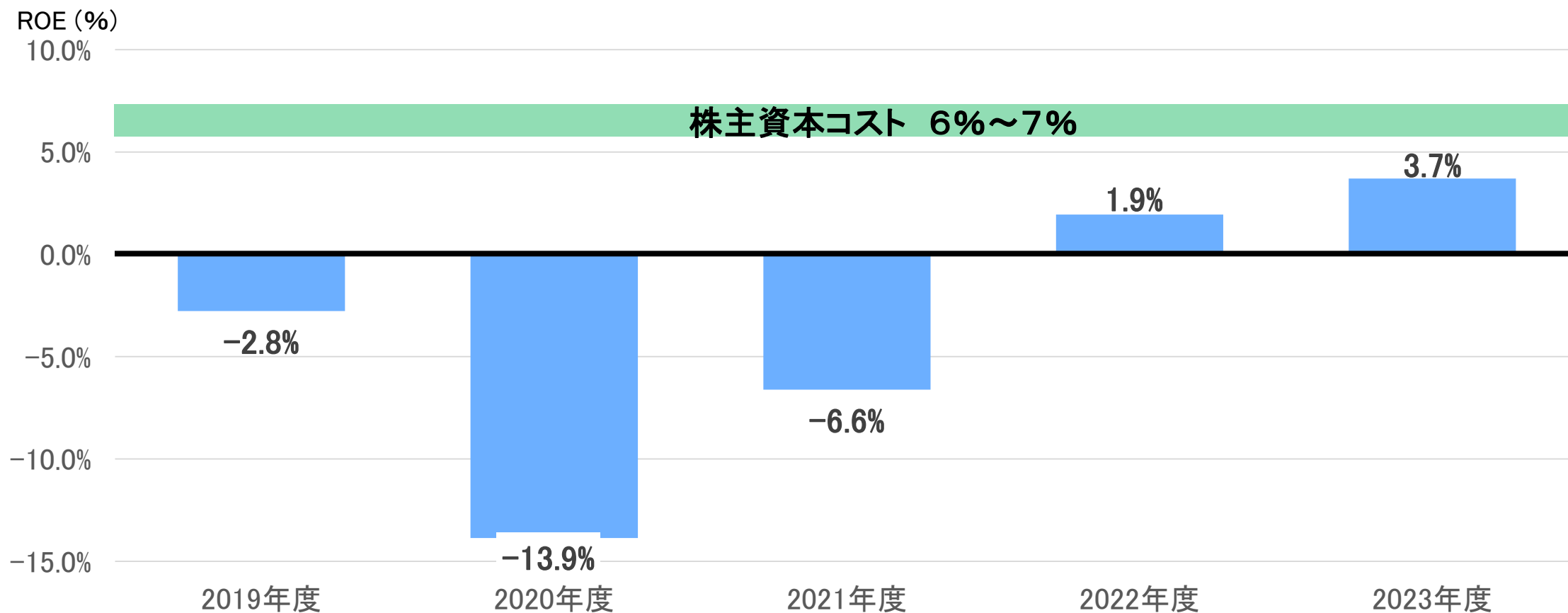
好調な収益、円安の進行により自己資本の拡大

コロナ禍や半導体不足により収益不振



株主資本コストとROEの関係

株主資本コストを上回るROEの達成に向けた取り組みの強化





方針と目標

中期的にROE8%以上を目標に掲げ、PBRの改善を目指す

収益基盤の強化（ROEの向上）

事業戦略

- 戦略的技術開発の推進
- 拡販の推進
- スマート化の推進

財務戦略

- 株主還元の充実
- 収益性を高める資金配分

将来性への市場の信認獲得

非財務戦略

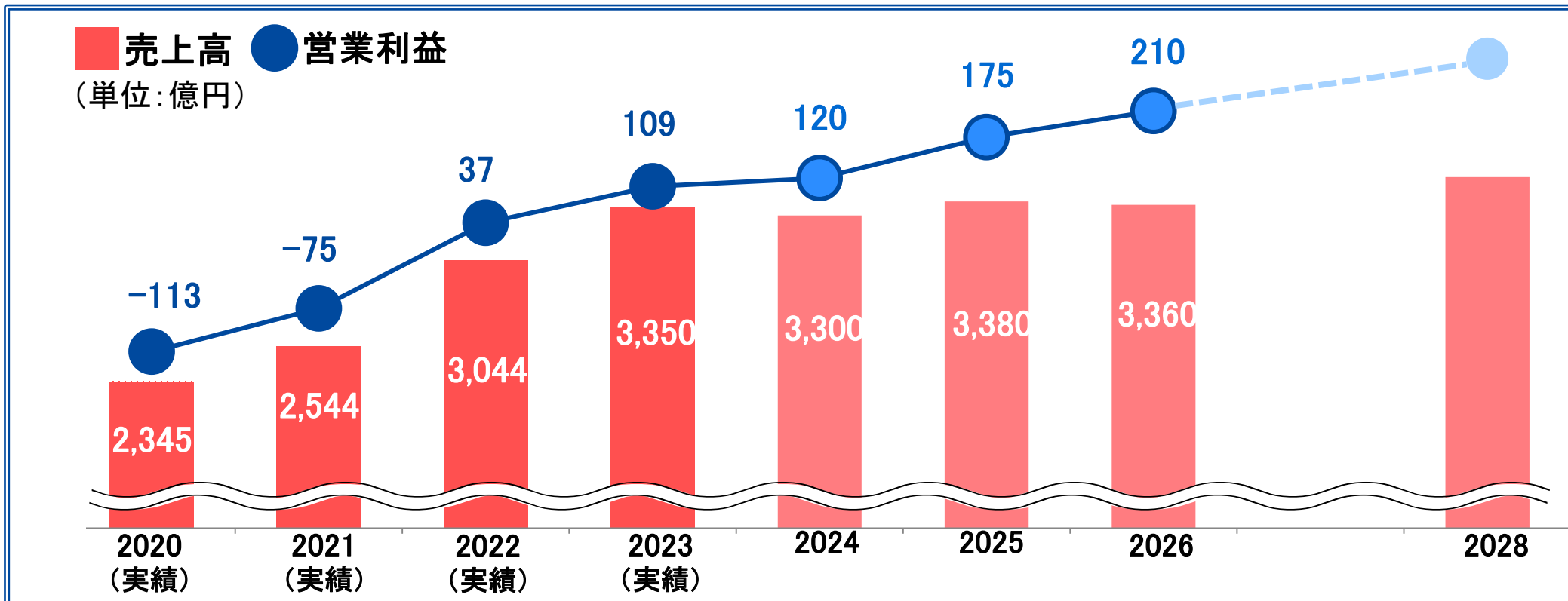
- サステナビリティ経営の推進

株主・投資家との対話強化

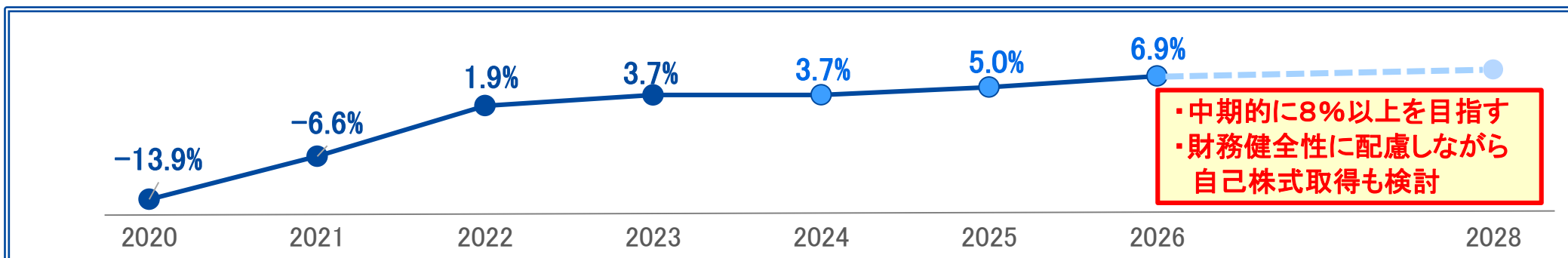
- IR・SR活動の更なる充実

2024-2026年度 中期経営方針 経営指標と目標

売上高
営業利益



ROE

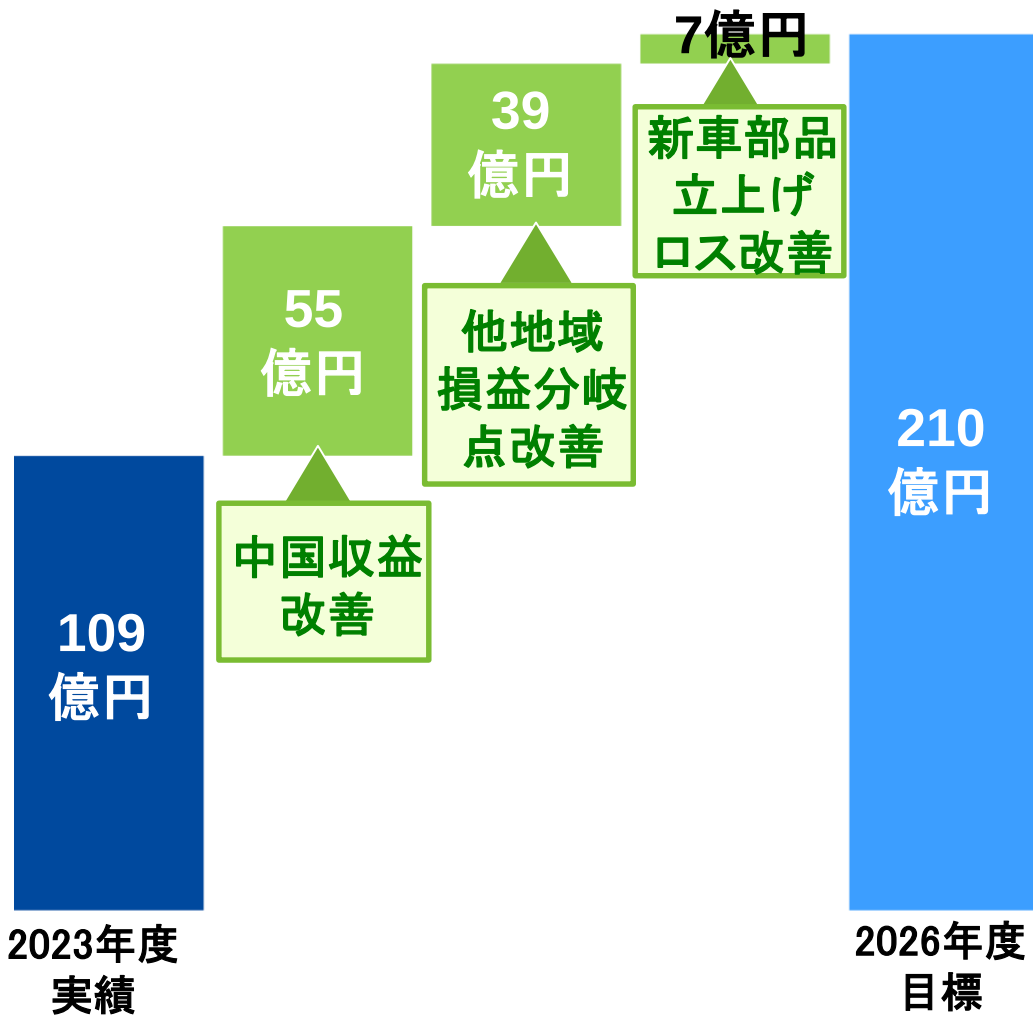




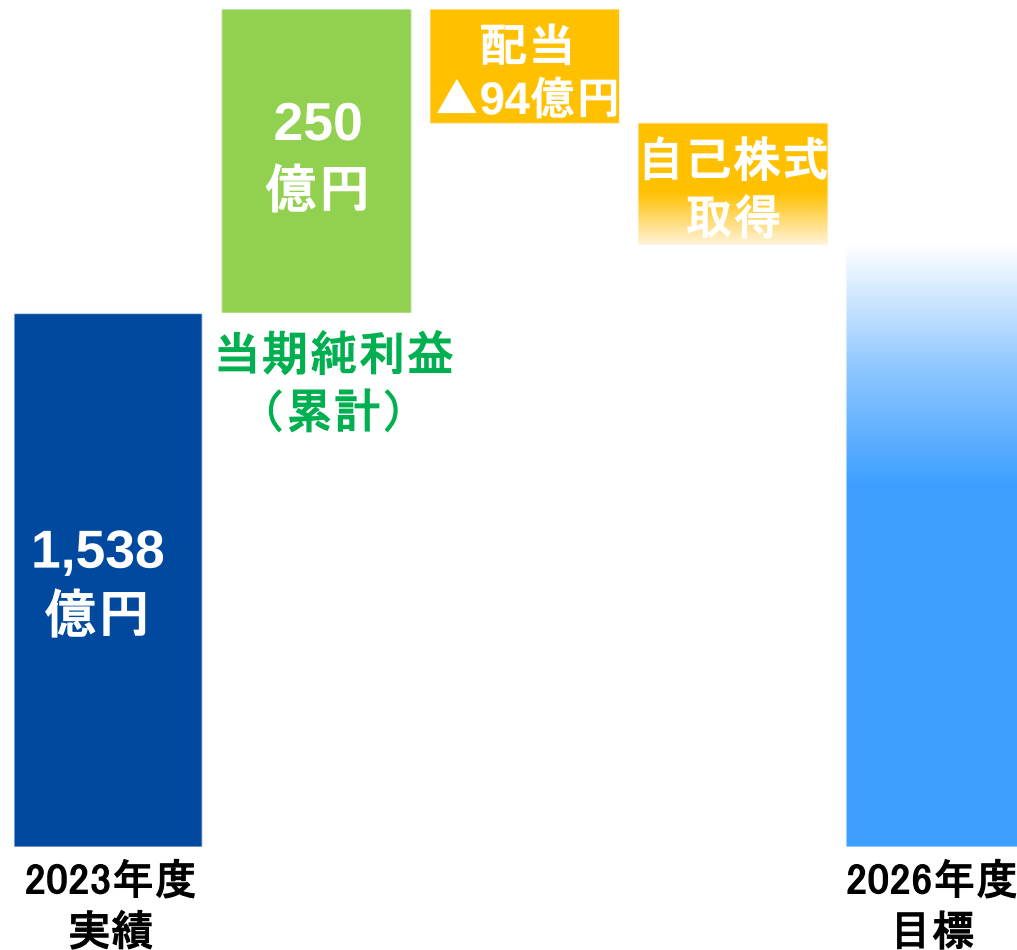
取り組む施策

収益基盤の強化（ROEの向上）

<営業利益の向上>



<自己資本の圧縮>



車体プレス 部品事業

技術開発

最適車体構造提案

- 軽量化・コストダウン
- アルミ対応力強化

拡販

- 新興EVメーカーや部品メーカーを含めた新規取引先への拡販

スマート化

生産部門

- スマート工場の実現

樹脂 部品事業

多機能化

- 新たな機能付与
- 環境に優しい材料

付加 価値 向上

- 日本を中心に拡販を強化

コスト 競争力 向上

データ連携

本社・源流部門

- スマート源流の実現

トランスミッション 部品事業

電動車パワートレイン 部品

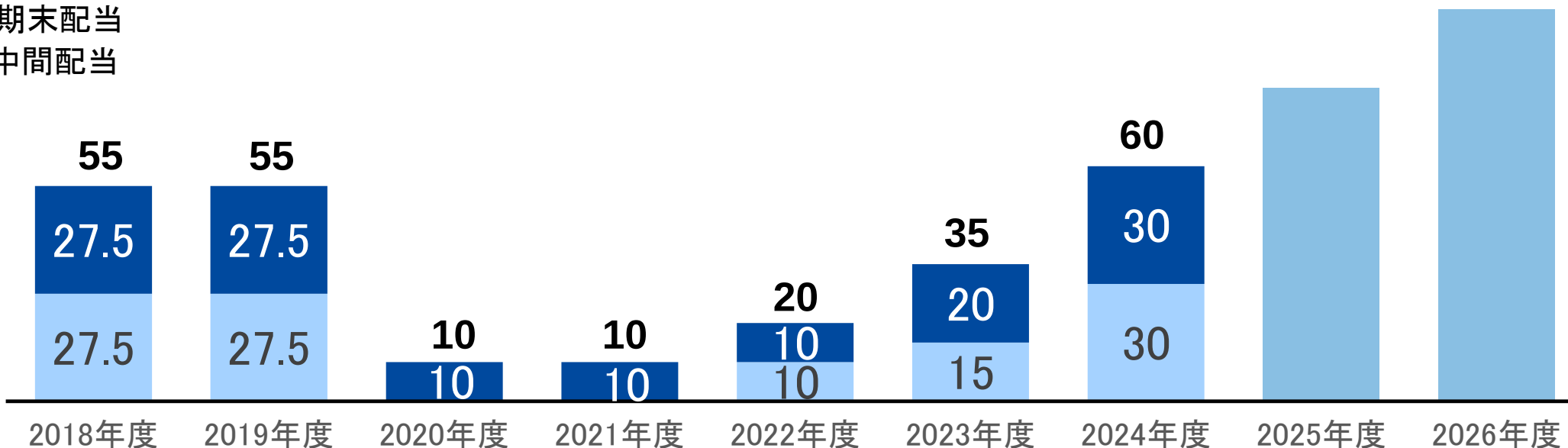
- e-Axle構成部品
- 既存部品のプレス化

- カーメーカー、ユニットメーカーへの拡販強化
- 新たな分野への挑戦

- 安定的かつ適正な水準の配当を目指し、株主資本配当率(DOE)を意識した配当金とする
- 当面は、DOE2%超を意識し、中期的には3%を目指す

(円/株)

■ 期末配当
■ 中間配当



DOE	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	1.8%	1.7%	0.4%	0.4%	0.7%	1.1%	1.7%	当面は2%超を意識	

■ 2024年度-2026年度3年間累計

<キャッシュイン>



<キャッシュアウト>



人的資本への投資

Well-being経営

◆ キャリア

- キャリア充実の施策実施
- 女性管理職比率の更なる向上

◆ 人間関係

- 心理的安全性向上
(全管理職向け研修の実施等)

◆ 経済的

- 賃金制度改定

◆ 心身の健康

- ヘルスリテラシー向上

◆ 地域社会

- 社会貢献活動の拡充

< 個人の成長 >

< 会社の成長 >

企業価値の向上

IR・SR活動の更なる充実

情報開示の強化を含め、IR・SR活動の更なる充実により、
株主・投資家との認識のギャップを埋め、企業価値の向上につなげる

2023年度主要取り組み

- 代表取締役社長をはじめ、工場・生産担当役員、技術担当役員、財務担当役員等による決算説明会を年2回開催
- 積極的なIR・SR面談を実施
 - － 財務担当役員、IR担当役員による機関投資家・アナリストとの個別対話：72回
 - － IR担当役員による議決権行使担当者（機関投資家）等との個別対話：11回
- 対話を通じて把握した株主・投資家の意見は経営層にフィードバックを実施

今後の取り組み

- IRサイトを含むコーポレートサイトの刷新により、情報開示を強化（2024年度公開予定）
- 当社への理解を深めていただくため、技術説明会、工場見学会等の開催を検討



UNIPRES